TOHOKU UNIVERSITY
IRIDeS
東北大学災害科学国際研究所

農学系の国際学会 ICAGRI において基調講演を行いました（2026/10/7～8）

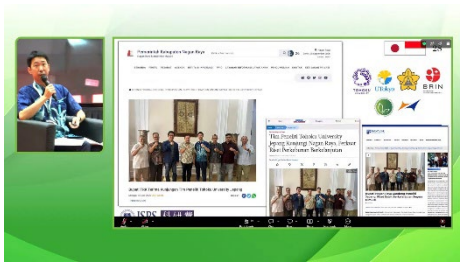
テーマ：災害科学、災害レジリエンス、農業・農村、国際共同研究
会　場：シャクアラ大学（インドネシア・アチェ州バンダアチェ市）
URL： https://icagri.usk.ac.id/2026/
https://kaken.nii.ac.jp/ja/grant/KAKENHI-PROJECT-24KK0015/

2026 年 10 月 7 日から 8 日にかけて、インドネシア・シャクアラ大学農学部が主催する国際学会 ICAGRI 2026（International Conference on Agriculture and Bio-industry）が開催され、原裕太助教（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）が基調講演を行いました。

主題：The Climate-Disaster-Ecosystem-Agriculture Nexus: Navigating Risks and Building Resilience（気候ー災害ー生態系ー農業の連環：リスク対応とレジリエンス構築）

同学会では「Bridging Agriculture and Forest Ecosystem through Sustainable Land Management for Climate Resilience（気候レジリエンスのための持続可能な土地管理を通じた農業と森林生態系の連携）」をテーマに、持続可能な食料・農業生産や森林管理に関して、多数の研究発表が行われました。基調講演者はほかに、インドネシア政府林業省の Catur Endah Prasetiani 社会林業総局長、ドイツ・ゲッティンゲン大学の Hermann Behling 教授（花粉学・気候力学）らが務めました。なお原助教は、科研費（海外連携研究）の支援によりシャクアラ大学農学部と国際共同研究を展開しています。

国際学会の様子



基調講演の様子

Sabaruddin 農学部長（左）と原助教（右）

感謝状、記念品など

文責：原 裕太（2030 国際防災アジェンダ推進オフィス）